

もい 木のこどもだより

「放課後子ども教室」とは、全国の小学校区において、放課後や週末等に小学校の余裕教室などを活用し、地域の方々の力を借りて、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動を行い、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するものです。

盛岡市では、「上田ジュニアキャンパス（UJC）」、「渋民放課後子ども教室」、「うれし野こども図書室子ども教室」、「中屋敷公民館子ども教室」、「繋小学校放課後子ども教室」の5つの放課後子ども教室を開設しています。

今回は、公民館の特色を生かして社会教育団体と連携を図りながら活動を工夫している「上田ジュニアキャンパス（UJC）」の様子を紹介します。

『木のこどもだより』名前の由来。

「社と水の都」とよばれる盛岡市において、地域の皆さんの力で子どもたちの心を育み、木々の枝のように伸びやかに育てていければ・・・、という願いを込めました。



上田ジュニアキャンパス（UJC）の活動紹介

子ども教室の概要



U上田 Jジュニア Cキャンパス

- ♠ 所在地
盛岡市上田4丁目1-1（盛岡市上田公民館）
- ♠ 連絡先
019-654-2333
- ♠ 対象小学校区
上田小学校区
- ♠ 開催日時
6月から2月までの第2・第4木曜日
午後3時から4時30分まで
- ♠ 主な事業内容
宿題等の自己学習、制作活動、体験学習等
- ♠ 利用している子どもたちの様子



心をわくわくさせながら通ってくる子どもたち宿題を終わらせて、活動を待ちます

登録児童は1～6年生46名。縦割班を編成して異年齢交流がなされるように工夫しているので、年上の子が年下の子をお世話する姿が見られます。活動日、子どもたちは活動への期待に胸をはずませて来館し、開始時刻になるまで1階のホールで自己学習をしたり、読み聞かせを聞いたりしながら待ちます。

教室の特長

本教室が設立されてから11年になります。楽しくて魅力的な活動内容が展開されていて、年々参加希望者が増えています。今年度は「絵手紙制作の体験」、「おやつ作り」、「ハーモニカ演奏」、「お茶体験」など、公民館で活動しているサークルの方々が指導者として関わる日が数回あり、多様な体験活動が展開されています。サークルの皆さんは、「子どもたちのために」という気持ちをもって公民館の担当者と綿密な打ち合わせをしながら準備をします。地域の教育活動サポーターや近隣の岩手大学の学生ボランティアの皆さんのお世話もいただいているので、子どもたちは「地域のいろいろな方と交流できて楽しいうれしいです」と話しています。また、指導されるサークルの皆さんも「子どもたちから元気をもらっている」と、子どもたちとの交流を楽しみにしています。2月の最後の活動日には、1年間の思い出をまとめる活動の他に「3.11祈りの灯」を作製し、東日本大震災を忘れない活動も行っています。

活動の様子

10月26日(木)には、上田公民館で活動している「武者小路千家サークル喫茶去(きっさこ)」の皆さんの御指導でお茶体験が行われました。「はじめの会」では、上田公民館長さんが「お茶体験は、日本特有の文化を学び、サークルの方と交流もでき、自分たちの生活に生かす内容が入っている」と、お茶体験の3つの良さを説明されました。



小原先生からお茶のいただき方を教えていただく子どもたち・・・温かで落ち着いた空気がながれます



柿のお菓자에ほっぺたがおちそう・・・

次に、お茶の小原先生から「絆」の文字の掛け軸と秋の花を生けてお茶をもてなす気持ちについてお話をいただきました。子どもたちは真剣な表情でお話を聞いていました。いよいよ、お茶体験です。子どもたちは、喫茶去の皆さんが用意した美しい柿の和菓子と心を込めてたててくださったお茶を「おいしい!」と言いながらいただいていたました。6年生の女の子は「今日で6回目の体験です。『今年で終わりだなあ』と思いながら参加しました」と感慨深く話していました。

サークルの方々や地域の教育活動サポーターさん、ボランティアの岩手大学の学生さんにお世話してもらった子どもたちは、幸せだなあと感じました。上田ジュニアキャンパスの皆さん、ありがとうございました。